

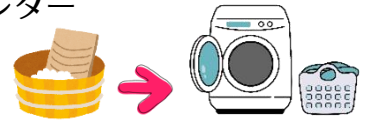


季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター

## 知ってる？ クリーニングの歴史

クリーニングの始まりは、室町時代。藍染をしていた「紺屋」の人たちが洗濯を副業としたのが始まりと言われていいます。(クリーニングの紺新も、かつては染物屋さん！) 専門のクリーニング屋が誕生したのは享保(江戸時代)ですが、今のようなドライクリーニングではなく、ソーダや石けんを使って水洗いをしていました。日本に初めてドライクリーニング店できたのは、明治中期頃。ちょうど日本人が洋服を着るようになったのと同じ時期。装いの変化が、クリーニングの歴史と深く結びついているということです。

## 洗濯の“今”と“昔”



衣類と洗剤を入れてスイッチを押すだけでかんたんに洗濯が完了するのは、今ではごく当たり前のこと。洗剤を自動計量して投入してくれるものや、乾燥までできるものなど、時代の変化とともに洗濯機はどんどん進化し便利になっています。

昔の人たちはどのような方法で洗濯をしていたのでしょうか？ 洗剤がなかった時代は、灰汁や米のとぎ汁を使って洗濯をしていました。もちろん洗濯機があるわけもなく、桶やタライに水を張って足で踏んだり手でもんだりする、とても大変な作業でした。明治の頃には洗濯板や石けんが普及し、洗濯の方法が少しずつ変化していきます。それでも手作業であることに変わりはなく、重労働な家事だったと言えるでしょう。

大正から昭和初期にかけて手回し洗濯機が登場し、昭和20年頃からは電気洗濯機が普及。どちらも洗いとすすぎをするだけで、脱水は手で絞るか別売りのローラーでおこなうというものでした。昭和40年頃によく二層式洗濯機が普及し、ずいぶん洗濯が楽になりました。実際に使ったことのある人も多いのではないのでしょうか。実は、クリーニングの紺新では今でも二層式洗濯機が現役で活躍中！洗いの強さや時間、水量が細かく調節できるためデリケートなものを洗うのに欠かせない大切なアイテムです。



現在はほとんどの家庭で全自動洗濯機が使われていますね。スイッチを押すだけで洗濯ができる便利さに慣れている私たちですが、時間があるときには着つつ丁寧に手洗いしてみるのもよいかもしれません。汚れが落ちる様子や、すすぎの水が透明になっていくのを自分の目で見ることで、「ちゃんと洗えている!」と実感できそうですね。大変な作業を経験することで、全自動洗濯機のありがたみを感じることもできるのではないのでしょうか。便利なものをうまく活用しつつ、不便さも楽しめる“心のゆとり”をもって日々の暮らしを楽しんでいきましょう。

### 【洗濯洗剤の変化】

1950年代～	1970年代～	1980年代～	2000年代～
袋入り粉末洗剤	箱入り粉末洗剤	コンパクト粉末洗剤	液体洗剤

袋や大きな箱に入った粉末合成洗剤は、1980年代になると計量スプーン付のコンパクトなものに。2000年に発売されたキューブ型のは、計量の手間が省けて当時は画期的でした。現在は液体洗剤が主流になり、プッシュ式やジェルボールなどさまざまなタイプのものが出ています。



### 営業案内 (赤い日は休み)

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

OPEN\*9:00-CLOSE\*19:00

☆16日(月)は祝日臨時営業のため17:00閉店  
※休みや営業時間は変更になることがあります

### 布団・ラグ類の仕上がり遅延について

6月以降にお預かりした布団・ラグ・カーペット類の仕上がり遅れが出ております。ご心配をおかけし申し訳ありません。例年は1~2か月程度でお返しできていたものですが、今年は預かりが短期間に集中してしまい、作業に遅れが出ている状況です。仕上がったものから順次連絡またはお届けしてまいります。すぐに必要という場合はご連絡ください。

### 堀之内十五夜祭り 9月13・14・15日

お祭り期間中の13日(金)・14日(土)は受付(お預かり・お渡し)業務のみの営業(9:00~19:00)となります。この期間の急ぎ仕上げはお受けできません。また、交通規制がかかる時間帯がありますので、車で来店にはご注意ください。15日(日)は定休日となります。

